



贈呈式の様子

### アクサ損保

## 「アニー」との夢描くことで子どもたちに勇気を

神奈川県立こども医療センターで

## オリジナル絵本贈呈式

アクサ損保は昨年11月、川県立こども医療センターで、入院中の子どもたち

ちが治療に寄り添う「ファシリテッドブック「アニー」との旅を想像して完成させるオリジナル絵本『アニーといっしょに旅しよう!』の贈呈式とお披露目を開催した。同社は、病氣と闘う子どもたちやその家族が心からの笑顔で過ごせるようにとの思いから、同センターに入院している子どもたちに寄り添い勇気付ける「ファシリテッドブック」の支援を2018年から続けており、19年には「ファシリテッドブック「アニー」」のオフィシャルスポンサーとなることを決定。オリジナル絵本の制



子どもたちに贈られたオリジナル絵本、「アニー」のぬいぐるみとメッセージカード

作は同オフィシャルスポンサーの継続を機会に20年から開始し、今年で4年目となる。『アニーといっしょに旅しよう!』は、入院している子どもたち自身が主人公となり、「ファシリテッドブック「アニー」」と一緒に試してみたいこところやってみてほしいこと

アシリテッドブックの派遣を行っている認定特定非営利活動法人シャイン・オン・キッズの協力を得て制作された。同社では23年8月に神奈川県立こども医療センターに入院している子どもたち全員に向けて同絵本430冊を贈呈しており、その子どもたちから

の反響を受けて新たに50冊を贈呈することとなり、今回、同センターで贈呈式とお披露目を行った。贈呈式・お披露目会には、神奈川県立こども医療センター総長の黒田達夫氏、同事務局長の八尋有造氏、シャイン・オン・キッズ理事長のキンバリー・フォーサイス氏、同事務局長のニリー・美穂氏、同ハンドラーの森田優子氏、ファシリテッドブック「アニー」が出席。同社からは代表取締役社長兼CEOの佐伯美奈子氏、社員らが出席した。

当日は、同社の佐伯社長が神奈川県立こども医療センターの黒田総長に絵本50冊を、また、シャイン・オン・キッズのフォーサイス理事長に、日

本におけるアクサのメンバーが心を込めて書いた手書きのメッセージカードを添えた「ファシリテッドブック「アニー」のぬいぐるみ430冊を贈呈した。ぬいぐるみとメッセージカードは、シャイン・オン・キッズを通して同センターに入院中の子どもたちに贈呈式当日に手渡された。続いて、同社社員が『アニーといっしょに旅しよう!』を朗読し、子どもたちの「アニー」と行ってみたいところ、やってみてほしいことを紹介。また、子どもたちの作品のワンシーンをアニーと共に再現し、最後に子どもたちが作品に込めたメッセージの紹介を行った。

また、シャイン・オン・キッズのフォーサイス理事長は「アニーのぬいぐるみやオリジナル絵本の贈呈など、子どもたちへのための支援を共に実施

できることをうれしく思う。絵本やアニーのぬいぐるみは、子どもたちにとってとても大きな意味があるもので、アニーのぬいぐるみはアニーの代わりとなって、手術や治療の際に子どもたちに寄り添っている。子どもたちのための素晴らしいプロگرامを企画し、ご支援いただいていることに感謝申し上げます」と述べた。

を思い浮かべて自由に表現しながら作り上げるオリジナルの絵本で、闘病中に子どもたちに楽しい時間を過ごしてもらいたいとの願いが込められている。絵本は、ファシリテッドブックの派遣を行っている認定特定非営利活動法人シャイン・オン・キッズの協力を得て制作された。

本におけるアクサのメンバーが心を込めて書いた手書きのメッセージカードを添えた「ファシリテッドブック「アニー」のぬいぐるみ430冊を贈呈した。ぬいぐるみとメッセージカードは、シャイン・オン・キッズを通して同センターに入院中の子どもたちに贈呈式当日に手渡された。続いて、同社社員が『アニーといっしょに旅しよう!』を朗読し、子どもたちの「アニー」と行ってみたいところ、やってみてほしいことを紹介。また、子どもたちの作品のワンシーンをアニーと共に再現し、最後に子どもたちが作品に込めたメッセージの紹介を行った。

また、シャイン・オン・キッズのフォーサイス理事長は「アニーのぬいぐるみやオリジナル絵本の贈呈など、子どもたちへのための支援を共に実施

できることをうれしく思う。絵本やアニーのぬいぐるみは、子どもたちにとってとても大きな意味があるもので、アニーのぬいぐるみはアニーの代わりとなって、手術や治療の際に子どもたちに寄り添っている。子どもたちのための素晴らしいプロگرامを企画し、ご支援いただいていることに感謝申し上げます」と述べた。

アキシ損保の佐伯社長は今回の取り組みについて、「私たちは『すべての人々のより良い未来のために。私たちはみなさんの大切なものを守ります。』というアクサグループのパーパスの下、子どもたちやご家族に安心と笑顔をお届けできるよう、神奈川県立こども医療センターに入院してい

るお子さんに寄り添い元気づける「ファシリテッドブック」の支援を18年から続けており、支援の一環として贈呈している絵本も4年目となる。今回は、「アニー」との旅を想像して、それぞれの思いを絵や自分の言葉で自由に表現して『世界に一つだけの絵本』を完成させることができるオリジナルの絵本を制作した。おひさまが完成させた絵本はともかわいらしく、アニーとの旅に想像が膨らんだ。絵本を受け取ったお子さんが絵本づくりを通してアニーとの世界を想像し、楽しんでいただけることを願っている。そして、この支援の輪を今後も継続して広げていきたい」とコメントした。